

「白門ミーティング」を開催

地域ブロックごとに、意見交換と懇親の場を設定

中央大学学員会では、学員ネットワークの拡充強化の一環として、地域ブロックごとに「白門ミーティング」を開催していくことを決定しました。今後3年で、全国の各ブロックをまわり、この白門ミーティングを開催する予定です。



学員会の基本方針の共有、意見・要望の集約を目的に開催

「白門ミーティング」は、全国の学員会の地域支部をブロックごとにまとめ、意見交換と懇親の場を設けることで、学員ネットワークの拡充強化をはじめとした学員会の基本方針の共有と、具体的な取り組みについての理解を得ることを目的としています。またあわせて、学員からの大学や学員会に対する意見・要望を求め、集約していくことも念頭に置いています。

2013年末、大阪新阪急ホテル運営の会員制クラブ（関西文化サロン＝大阪・北区。阪急グランドビル19階）に学員会が法人として入会し、「大阪白門サロン」を開設したことを機に、近畿ブロックでミーティングを開催。そして2014年9月2日（火）には、会議の名称を「白門ミーティング」と改め、九州・沖縄ブロックで意見交換を行いました。



優秀なスポーツ選手の獲得や育成を求める意見が多数

熊本県南阿蘇村で開催された九州・沖縄ブロックの「白門ミーティング」では、九州地区の北九州、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各地域支部から支部長、副支部長、幹事長、事務局長など代表者21名、本部からは久野修慈会長以下7名が参加しました。

第一部の「意見交換会」では、およそ3時間にわたり、各支部から大学や学員会に対して、さまざまな意見や要望、そして質問が寄せられました。その中には、中央大学のブランドイメージ向上のために優秀なスポーツ選手の獲得や育成を求める意見も多くあり、2020年の東京オリンピック

での中大関係出場者10名以上に向けた支援体制づくりについても提言されました。

出席した学員会会長、副会長らは、支部からのさまざまな疑問や質問に答えるとともに、全国各支部が共通して抱える問題の認識や、今後の学員会の検討課題についての考えも語られました。

ネット活用促進や高齢化対策が支部の共通課題



支部の共通課題としては、支部活動におけるホームページやフェイスブックなどのネット活用促進や、活動メンバーの高齢化対策と若手の参加促進などが議題に上がりました。

第二部の「懇親会」でも、活発な意見交換が行われるとともに、九州・沖縄ブロックのミーティングの継続と支部間での連携など、今後一層の親睦と情報交換の場づく

りの必要を確認し合いました。

意見・要望については、学員会会長、副会長から学員会としての考えや取り組みを説明するとともに、必要事項については学員会本部において検討し、今後の活動に反映させていく考えです。

次の開催は2015年2月28日、名古屋で東海・北陸ブロックのミーティングを予定しています。

学会のキャリア支援

各支部が充実した準会員サポート

学会の支部は、準会員（4年生以上の在校生）を含む在学生に対するキャリア支援として、さまざまな取り組みを活発に行っています。白門の後輩が幅広く、また多くの世界で活躍することを願い、各支部が手厚いサポートをしています。



女性白門会「ウイングの会」でのグループディスカッション

地域・年次・職域支部のキャリア支援

学会の地域・年次・職域の各支部は、在学生へのキャリア支援として、セミナーや懇親会などさまざまな取り組みを行っています。地域支部はその地に根付いた大

手企業の参加や現地で働く学员との懇親・交流、年次支部は60余にもおよぶ年代との交流による幅広い支援、職域支部は各専門業界で活躍する学员によるサポートな

ど、それぞれの強みを活かした活動をしています。

近年行われた、主な支部のキャリア支援をご紹介します。

【地域支部】

◆山梨支部

県庁や市役所、県内の大手企業が参加し、進路（就職）相談会を実施。各団体・企業の概要説明ののち、就職相談、質疑応答など。

◆福岡支部

父母連絡会福岡県支部と連携して、県内すべての父母に開催案内し、「父母・学生向け」と「父母向け」の2部構成で実施。福岡の大手企業や官公庁も参加。

◆ロサンゼルス支部

在学生による「LA企業訪問研修」を毎年9月に開催。1週間LAに滞在し、学员が関与する会社を訪問、また起業した学员の話を聞く機会を設けている。

◆上海支部

現地に勤務する学员が、キャリアセンター主催の企業研究プログラムにおいて、「グローバルに働くとはどういうことか」を重点テーマとした参加在学生と交流および議論を実施。

【年次支部】

◆年次支部協議会

進路選択に寄与する支援策として、進路相談会、公開模擬面接、社会人と学生の交流を促進する交流会を実施。

◆白連会 2009 支部

年次支部協議会開催の進路相談会に卒業から数年の“若手学员”として参加。講演会や「働くこと」についての議論、個別ブース相談会を実施。

【職域支部】

◆中大技術士会支部

在学中に技術士第一次試験に合格することを目標に、模擬試験の実施や勉強法の解説、懇談会を開催。難関「技術士試験」の合格者数の増大を目指す。

◆女性白門会

「ウイングの会」として毎年、講演会や就職内定者によるパネルディスカッションを実施。女子学生の就活における悩みや疑問に答え、応援する。

◆公認会計士白門会

中央大学経営研究所と共催で、公認会計士試験受験生から希望の多い大手監査法人に勤める学员を招き、進路相談会を実施。

◆土木・都市環境同窓会支部

建設・不動産・鉄道等にかかわる大手企業や官公庁などが多数参加する就職説明会、講演会、懇談会を実施。

【中大技術士会支部】 難関の国家資格合格に向けたサポート

「技術士」は、第一次試験に合格後、一定の業務経験を経て第二次試験に合格することで取得できる国家資格で、理工系の最高峰といわれる難関です。資格所有者は日本や海外の全技術分野で技術指導者として活躍しています。

職域支部のひとつである中大技術士会支部では、2009年より理工学部の準会員を含む在学生および学员に対し、第一次試験の受験支援を開始。その成果として、2009年に第15位だった第一次試験の大学別合格者数が、2013年には第3位と飛躍的に伸びました。同支部では全国1位を目指し、一層の支援態勢の充実を図っています。

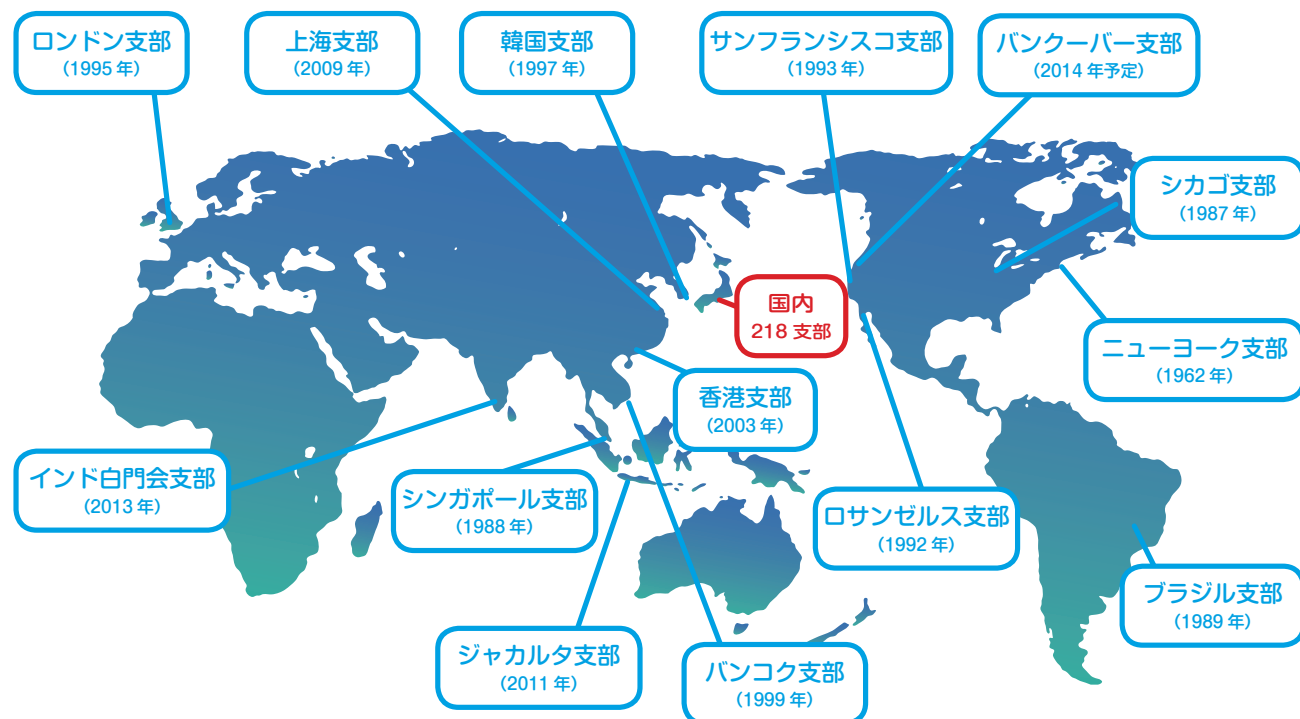


中大技術士会支部が開催する模擬試験の様子

グローバルに広がる白門の輪

海外でも学员・在学生のネットワークを拡充

学会では、母校の「グローバル人材育成」に呼応し、海外で活躍する数多くの学员や、これから世界で活躍する在学生のネットワーク拡充にも努めており、世界に13ある学会の海外支部も、その一端を担っています。また近々、カナダのバンクーバー支部が新たに正式発足する予定です。



学会の海外支部は、親睦会や情報交換会のほか、その国を訪れる大学関係者や学员、在学生の歓迎会などを行っており、現地の法人会の中でも主要な組織となっているところもあります。

また、在学生の留学支援や就職支援といったサポートを活発に行っているところも多く、国際社会への貢献に資する人材を中央大学からより多く輩出すべく、その環境を整え、応援する活動をしています。

それらの海外支部の中から、東南アジア地域のジャカルタ支部とバンコク支部の活動報告を紹介します。

ジャカルタ支部

ジャカルタ支部は2002年に発足した後、徐々に会員数を増やし、2011年に正式に支部となりました。主な活動として、懇親会や情報交換会、ゴルフコンペを開催していますが、中央大学からのゼミ生の支援、留学生の募集に関する情報収集も行っています。

名誉会員であるラフマツ・ゴーベル氏は、インドネシア日本友好協会の理事長であり、日本とインドネシアの関係強化において活躍しています。2014年5月に中央大学より名誉博士号を授与され、10月にはインドネシア新政権において、商業相に起用されました。ゴーベル氏は、日本への留学生のため、ゴーベル奨学金を供与するなど、日本とインドネシア、そして中央大学をつなぐ大きな役割を果たしています。



ゴーベル氏を囲んだ祝賀会

バンコク支部

1996年に有志が集まって発足したバンコク支部は、その3年後に支部として設立しました。定期的に懇親会やゴルフコンペを開催していますが、大学関係者の来タイ時や、留学生の歓送迎会なども臨時懇親会として行っています。会員数は50名ほどですが、今後はジャカルタ支部やシンガポール支部など、近隣（アセアン域内）の支部とも交流し、盛り上げていくことを目標としています。

日本からタイへの企業進出はまだまだ旺盛であり、中央大学の学员がタイに赴任することも増えてくることと思います。今後も、そういった白門の同輩、後輩たちと一緒に白門の輪を広げていくため、日々活動しています。



親睦会（2014年3月）

ご支援のお願い

白門奨学会について

就学困難な優れた学生を援助、救済するための奨学制度

学会では、経済的事情により学業を継続できないおそれのある優れた学生を対象に、学資金を貸費、給費する等の方法によって援助、救済するための奨学制度を設けています。この奨学制度を担っているのが公益財団法人白門奨学会です。

公益財団法人白門奨学会では、学業・人物ともに優秀かつ健康であって、経済的な事情で就学困難な学生に対し奨学援助を行い、社会有用の入材を育成することを目的としています。

学会は1973年より奨学事業を行ってきましたが、1978年10月に財団法人白門奨学会となり、さらに2014年4月から公益財団法人白門奨学会となったこと

で、奨学制度の一層の充実・発展に努めています。

本奨学会が2013年度までに貸費した学生は268人、給費494人、研究費給費115人、冠奨学金給費375人。また奨学金は、現在のところ学部学生・大学院生および外国人留学生を対象に年間あたり約1,500万円の給付を行っています。

これらの奨学金の多くは、おもに中央大

学を卒業した学員の皆様からの寄付により成り立っています。

ご賛同のうえ、
積極的なご協力とご支援を
よろしくお願いいたします。

ご協力・ご支援をお願いします

1. 募金の種別

法人：1口10万円以上 個人：1口1万円以上（法人・個人とも口数は任意です）

2. 寄付金の納入方法

(1) 専用の振込用紙による寄付（*振込手数料はかかりません）

専用の振込用紙を郵送させていただきますので、お手数ですが下記の白門奨学会事務局までご連絡ください。

(2) ゆうちょ銀行（郵便局）での振込

郵便振替口座：00160-7-7120 三井住友信託銀行本店営業部

上記の口座に振り込んでください（備考欄に「白門奨学会基金」と記載）。

(3) その他

現金書留にて郵送または直接持参の場合には、下記の白門奨学会事務局までお願いいたします。

3. 寄付者の発表

寄付者のご芳名は、ご納入いただいた翌日以降の中央大学学会の機関紙「中央大学学員時報」に発表いたします。本会では寄付者名簿に登載し、永久に保存させていただきます。

4. 寄付金の領収書の送付

後日、本会から「領収書」を送付いたします。

5. 税法上の優遇措置

寄付した翌年の確定申告期間（2月中旬～3月中旬）に、本会発行の「領収書」を確定申告書に添えて所轄の税務署に提出し、所得税の還付請求を行ってください。

公益財団法人 白門奨学会

〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台3-11 中央大学駿河台記念館7階

TEL：03-3292-5399 FAX：03-3219-6177